

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	学年	2 学年
学科	全学科	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	「新保健体育 ノート」（大修館書店）						
学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身につける。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学期	4 月	第3章 生涯を通じる健康					
		1 思春期と健康	思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあること、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解している。	◎	○		
	5 月	2 性意識の変化と性行動の選択			◎	○	
		3 結婚生活と健康	結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から学ぶ。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題と、それらには年齢や生活習慣などが関わること。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解している。	◎		○	
	6 月	4 妊娠・出産と健康			◎	○	
		5 家族計画		◎		○	
	7 月	6 加齢と健康	中高年期を健やかに過ごすためには、若い時から健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもち、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解している。	◎		○	
2 学期		7 高齢社会に対応した取り組み		◎		○	
	8 月	8 働くことと健康	労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。		◎	○	
	9 月	9 労働災害の防止		◎	○		
		10 働く人の健康づくり		◎	○		
	10 月	健康を支える環境づくり	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。				
		1 大気汚染と健康		◎	○		
	11 月	2 水質汚濁・土壌汚染と健康		◎	○		
		3 健康被害を防ぐための環境対策		◎	○		
3 学期	12 月	4 環境衛生に関わる活動		◎	○		
		5 食品の安全性と健康	食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。	◎	○		
	1 月	6 食品の安全性を確保する取り組み		◎	○		
		7 保健制度とその活用	生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。	◎		○	
	2 月	8 医療制度とその活用		◎		○	
		9 医薬品の制度とその活用			◎	○	
	3 月	10 様々な保健活動や対策	我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていること。自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。		◎	○	
		11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり			◎	○	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・定期考査に加え、課題やノート提出、小テストの成績などを総合的に評価する。 ・平常の取組（授業態度、意欲等）についても評価する。
------	---